

日本国際理解教育学会第19回大会参加予定者の皆さま

2009年6月3日

前略

5月の連休が明けしばらくして中旬頃から、兵庫・大阪を中心に新型インフルエンザが流行り、若い世代の感染者が多く確認されました。以後、2週間近くの間、一斉休校、イベント中止、旅行のキャンセルなどの事態が発生しました。しかし、それらの措置が功を奏したのか、あるいは新型インフルエンザの弱毒性ゆえなのか、月が変わって収束してまいりました。

この間、研究大会を主催する私たちは、実施の有無について、気が気でない毎日を送りましたが、やっと心を安んじて、6月12日（プレイベント）および13、14日の研究大会、懇親会と、すべてのプログラムを予定どおり実施できることをお伝えできることをうれしく思っています。今後、会場である同志社女子大学が再び休校にならない限り、過怠なく実施いたしますので、どうか安心して来場くださいますようお願い申し上げます。

草々

日本国際理解教育学会第19回研究大会実行委員長 藤原孝章

June 3, 2009

Dear colleague of EIU in Korea and China

The Swine; new type of influenza has been prevalent at Kansai district of Japan in May.

But now the number of patients of infection is quite diminished in June. the local governments like Kobe and Osaka pronounced their city safe. We welcome you visit and have an presentation at the 19th conference of JEIU at Doshisha Women's College of Liberal Arts on 13 and 14 June.

FUJIWARA Takaaki, chair person of the 19th conference of JEIU.